



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社バッファロー
コード番号 3352 URL <https://www.buffalo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 坂本 裕二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 日下部 直喜 TEL 048-227-8860
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,356	4.6	150	22.5	163	15.4	116	32.2
2026年3月期第1四半期	3,208	17.0	123	12.1	141	21.5	88	17.7

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 116百万円 (32.2%) 2026年3月期第1四半期 87百万円 (17.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	49.67	—
2026年3月期第1四半期	37.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	9,826	6,533	66.5
2026年3月期	9,831	6,498	66.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 6,533百万円 2026年3月期 6,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,050	2.5	713	17.9	720	10.6	485	9.7	206.96

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期 1 Q	2,345,874株	2026年3月期	2,345,874株
② 期末自己株式数	2027年3月期 1 Q	2,464株	2026年3月期	2,464株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期 1 Q	2,343,410株	2026年3月期 1 Q	2,343,414株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な雇用・所得環境と堅調な設備投資を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、円安の進行と人件費の上昇を背景とした物価高騰が続いており、また、中東情勢の混乱による資源・エネルギー供給への不安が懸念されるほか、米国の通商政策の動向についても依然として不確実性が存在しており、今後の経済の先行きは不透明な状況となっております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、2024年5月9日に公表いたしました「中期経営計画2024」のもと、厳しさを増し急速に変化し続ける経営環境を乗り越えるための経営基盤の確立と更なる企業成長を目指すとともに、生活インフラである車関連事業及び外食事業を通じ地域社会に寄与すべく営業活動を行ってまいりました。

当社グループのセグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<オートボックス事業>

当第1四半期連結会計期間末におけるオートボックス事業の店舗数は、15店舗であります。当第1四半期連結累計期間中における店舗の新設及び廃止はございません。

オートボックス事業が属する国内カー用品市場の環境につきましては、新車販売台数が前年水準を上回るとともに、大型連休となったゴールデンウィークにおける外出需要も堅調に推移し、主にメンテナンス・消耗品の需要が増加することとなりました。

このような環境の中で当社グループは、「クルマのことならオートボックス」の実践を通じ、お客様への安全と安心の提供、顧客満足度の更なる向上に取り組んでまいりました。接客・接客力の強化、技術力を備えた専門スタッフの育成に注力するとともに、人材確保に向けての働きやすい職場の構築を図るべく、2025年4月より店舗の勤務形態に週休3日制を導入するなど、グループ内における労働環境・ワークライフバランスの改善を進めております。販売施策といたしましては、車検整備を軸としたピット・サービス工賃部門の業容拡大に重点を置き、新規車検顧客の獲得強化とともに、スマホアプリからの作業予約による利便性の向上、ピット関連設備の導入・充実化による受け入れ態勢の強化を図り、中期的な成長基調を維持しております。タイヤ販売につきましては、低価格帯商品のラインナップ強化や車両大型化・SUV人気の高まりに対応した大口径サイズの在庫の充実など、品質と価格のバランスに優れた商品を幅広く取り揃えた売場づくりを推進し、競合店やネット販売に負けない「安さと豊富な品揃え」を強みとしつつ、実店舗ならではの接客力や専門的な提案力を活かし地域のお客様から選ばれる店舗を目指しております。オイル・バッテリー部門につきましては、Web予約システムの積極的な利用促進・認知度向上の取り組みによりオイル交換の即日作業予約が堅調に伸び、オイル・バッテリーとも前年を上回る実績となりました。車販売部門につきましては、中古車の流通台数の不足により仕入競争が激化する状況にありますが、査定担当人員の増員とスキル向上による買取体制の強化等に努めた結果、個人向け販売は低調だったもののオークション市場における販売台数の増加と単価上昇が寄与し、増収となっております。

これらの取り組みにより、オートボックス事業の売上高は2,845,282千円（前年同期比3.5%増）となりました。

<飲食事業>

当社グループは、子会社である「(株)バッファローフードサービス」において、(株)ピソラがチェーン展開するイタリアンレストラン『P I S O L A』、(株)焼肉ライクがチェーン展開する焼肉店『焼肉ライク』を、フランチャイズ契約のもと運営しております。当第1四半期連結会計期間末における飲食事業の店舗数は、『P I S O L A』が5店舗、『焼肉ライク』が5店舗の計10店舗となっており、当第1四半期連結累計期間中における店舗の新設及び廃止はございません。

飲食事業が属する外食業界におきましては、来店客数の緩やかな回復基調が持続しており、また高騰する原材料費・人件費等への対応として価格改定の動きが波及した結果、客単価も上昇傾向にあります。一方で、物価の高止まりによる消費者の節約志向も根強いものとなっていることから、お得感の創出による需要の喚起が業界全体の課題となっております。

当社グループといたしましては、2024年4月より事業展開を開始した『P I S O L A』業態の運営体質強化に重点を置き、接客サービス品質の向上、コスト管理の徹底及び特定技能外国人の採用をはじめとした人員配置の最適化を図ることで、収益構造の改善を推し進めてまいりました。

これらの取り組みにより、飲食事業の売上高は511,542千円（前年同期比11.5%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,356,825千円（前年同期比4.6%増）、営業利益150,655千円（同22.5%増）、経常利益163,413千円（同15.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益116,387千円（同32.2%増）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セグメント	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		前連結会計年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(千円)	(%)	(千円)	(%)	(千円)	(%)
オートバックス事業	2,749,326	85.7	2,845,282	84.8	11,662,799	85.1
飲食事業	458,983	14.3	511,542	15.2	2,043,755	14.9
合計	3,208,309	100.0	3,356,825	100.0	13,706,554	100.0

各品目別の売上高及び構成比は次のとおりであります。

品目	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		前連結会計年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(千円)	(%)	(千円)	(%)	(千円)	(%)
ピット・サービス工賃	989,261	30.8	1,007,453	30.0	3,840,146	28.0
タイヤ・ホイール	644,793	20.1	651,445	19.4	3,140,218	22.9
飲食	458,983	14.3	511,542	15.2	2,043,755	14.9
アクセサリ・メンテナンス用品	416,511	13.0	452,290	13.5	1,757,973	12.8
オイル・バッテリー	258,538	8.1	302,641	9.0	1,235,223	9.0
車販売	217,352	6.8	220,398	6.6	861,691	6.3
カーエレクトロニクス	208,052	6.5	200,508	6.0	785,427	5.7
その他	14,816	0.5	10,545	0.3	42,118	0.3
合計	3,208,309	100.0	3,356,825	100.0	13,706,554	100.0

(注) 1. 当第1四半期連結会計期間末における飲食事業の店舗数は、『P I S O L A』5店舗、『焼肉ライク』5店舗の計10店舗となっております。

2. 各品目の主な内容は、次のとおりであります。

品目	主な内容
ピット・サービス工賃	オイル交換、タイヤ交換、各種用品取付、板金・塗装、車検・整備、ボディーコーティング、ヘッドライトコーティング、車内クリーニング
タイヤ・ホイール	夏用タイヤ、冬用タイヤ、アルミ・スチールホイール
飲食	店舗における飲食サービス
アクセサリ・メンテナンス用品	チャイルドシート、キャリア、チェーン、車内アクセサリ、ドレスアップ用品（ステアリング、シート、ランプ等）、チェーンナップ用品（エアロパーツ、マフラー、サスペンション等）
オイル・バッテリー	国産・輸入エンジンオイル、国産車用・外車用バッテリー
車販売	新車及び中古自動車
カーエレクトロニクス	カーナビゲーション、カーTV、ドライブレコーダー、DVD・CDプレーヤー、スピーカー、アンプ、ETC車載器、接続具等

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,134,344千円となり、前連結会計年度末に比べ8,806千円（前連結会計年度末比0.1%）増加しました。これは主に流動資産のその他に含まれる未収入金36,372千円の減少に対して、商品が40,899千円増加したことによるものであります。固定資産は3,692,347千円となり、前連結会計年度末に比べ14,046千円（同0.4%）減少しました。これは主に有形固定資産4,477千円及び差入保証金3,136千円の減少によるものであります。

この結果、総資産は9,826,692千円となり、前連結会計年度末に比べ5,240千円（同0.1%）減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,844,488千円となり、前連結会計年度末に比べ25,595千円（前連結会計年度末比1.4%）増加しました。これは主に未払法人税等97,244千円の減少に対して、買掛金99,357千円及び流動負債のその他に含まれる預り金32,131千円が増加したことによるものであります。固定負債は1,448,952千円となり、前連結会計年度末に比べ65,092千円（同4.3%）減少しました。これは主に長期借入金46,413千円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は3,293,441千円となり、前連結会計年度末に比べ39,497千円（同1.2%）減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は6,533,251千円となり、前連結会計年度末に比べ34,257千円（前連結会計年度末比0.5%）増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払の結果として利益剰余金が34,368千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画通り推移しており、現時点での2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,829,991	3,804,611
売掛金	752,822	765,768
商品	1,181,460	1,222,359
原材料	11,779	13,105
その他	349,485	328,499
流動資産合計	6,125,537	6,134,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,046,176	3,081,981
減価償却累計額	△1,577,246	△1,612,197
建物及び構築物（純額）	1,468,930	1,469,784
土地	686,694	686,694
その他	1,084,867	1,101,853
減価償却累計額	△674,031	△696,347
その他（純額）	410,836	405,505
有形固定資産合計	2,566,462	2,561,984
無形固定資産	5,396	5,396
投資その他の資産		
差入保証金	592,180	589,044
その他	562,141	555,708
貸倒引当金	△19,785	△19,785
投資その他の資産合計	1,134,536	1,124,967
固定資産合計	3,706,394	3,692,347
資産合計	9,831,932	9,826,692

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	484,033	583,391
1年内返済予定の長期借入金	185,652	185,652
未払法人税等	152,144	54,899
賞与引当金	174,478	188,190
その他	822,585	832,355
流動負債合計	1,818,893	1,844,488
固定負債		
長期借入金	562,444	516,031
退職給付に係る負債	678,036	672,591
資産除去債務	160,722	161,211
その他	112,842	99,118
固定負債合計	1,514,045	1,448,952
負債合計	3,332,938	3,293,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	653,084	653,084
資本剰余金	627,597	627,597
利益剰余金	5,218,409	5,252,778
自己株式	△142	△142
株主資本合計	6,498,949	6,533,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	△67
その他の包括利益累計額合計	44	△67
純資産合計	6,498,993	6,533,251
負債純資産合計	9,831,932	9,826,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,208,309	3,356,825
売上原価	1,423,919	1,513,818
売上総利益	1,784,390	1,843,007
販売費及び一般管理費	1,661,360	1,692,352
営業利益	123,029	150,655
営業外収益		
受取利息及び配当金	11,451	827
受取手数料	1,970	2,212
受取協賛金等	2,769	1,398
物品売却益	3,151	5,384
その他	3,464	8,273
営業外収益合計	22,807	18,096
営業外費用		
支払利息	3,551	4,852
その他	623	486
営業外費用合計	4,174	5,338
経常利益	141,662	163,413
税金等調整前四半期純利益	141,662	163,413
法人税、住民税及び事業税	56,129	44,060
法人税等調整額	△2,490	2,964
法人税等合計	53,638	47,025
四半期純利益	88,023	116,387
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,023	116,387

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	88,023	116,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	△111
その他の包括利益合計	△75	△111
四半期包括利益	87,947	116,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,947	116,276
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	オートバックス 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,749,326	458,983	3,208,309	—	3,208,309
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,749,326	458,983	3,208,309	—	3,208,309
セグメント利益又は損失 (△)	248,294	△33,157	215,136	△92,107	123,029

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△92,107千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	オートバックス 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,845,282	511,542	3,356,825	—	3,356,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,845,282	511,542	3,356,825	—	3,356,825
セグメント利益	201,624	44,652	246,277	△95,622	150,655

(注) 1. セグメント利益の調整額△95,622千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	53,477千円	63,430千円